

## 超短時間雇用

## シンポジウム

～ 働き手の強みを活かした雇用の創出～



『超短時間雇用』とは、週20時間未満の就労の機会の提供を通じて、長時間の就労が難しい障害のある方等に対して一般就労を促進するための取り組みです。

## 対象

超短時間雇用に関心がある企業や区民など

## 日時

令和7年2月18日（火） 10:00～11:40

開場 9:30 ※Zoomでご参加の場合は、9:45開場となります。

## 開催場所

品川区役所講堂（品川区広町2-1-36 第3庁舎6階）

## プログラム

- 10:05～10:10 区長挨拶
- 10:10～10:30 特別講演「超短時間雇用とは」  
東京大学先端科学技術研究センター  
社会包括システム分野 教授 近藤 武夫氏
- 10:30～10:45 令和6年度の取組の報告  
品川区障害者就労支援センター  
センター長 小島 ゆう子氏
- 10:45～11:15 事例報告  
しながわ水族館  
ローソングループ  
(株) 第一興商
- 11:15～11:35 トークセッション

申込不要 /

参加費  
無料

定員

会場 100名

オンライン 40名

※オンラインは定員超過の場合先着順

## 講師

## 近藤 武夫 氏

東京大学先端科学技術研究センター  
社会包括システム分野 教授

教育と雇用・労働において様々な障害や疾患のある人々を包摂できる社会を実現するため、超短時間雇用モデル等のインクルーシブな雇用システムに関する研究を行っている。



## コーディネーター

## 松清 あゆみ 氏

東京大学先端科学技術研究センター  
社会包括システム分野 特任助教

小児専門の理学療法士としての臨床業務も継続しつつ、現在は東大先端研で多様な働き方を創出する地域システムの実現に向けて活動中。

